

# JSCA九州 1/1版

発行・日本建築構造技術者協会九州支部  
 TEL 092-406-7204 / FAX 092-406-7214  
 Web Site : <http://jscakyushu.jp/>  
 E-mail : [info@jscakyushu.jp](mailto:info@jscakyushu.jp)

## 2022年巻頭言



2022年1月 JSCA九州支部長 今林 光秀

JSCA九州支部会員ならびに賛助会の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今年の正月は良く晴れて暖かく穏やかで人出もあり、とても寒くて静かだった去年の正月とは変わって、良い1年を期待させる2022年の幕開けとなりました。

今年こそ「JSCA 構造デザイン発表会 in 沖縄」1月28日に沖縄コンベンションセンターにて開催されることを信じています。これまで2回も延期となり、発表会WGおよび沖縄地区会の皆さんの尽力と苦勞を考えると、絶対に今年こそ成功したいと強く思っています。

2017年12月、2020年の構造デザイン発表会を九州支部開催で行うための準備が始まりました。当初は福岡開催と考えられていましたが沖縄地区会より「ぜひ沖縄で！」の強い意思表示があり、2018年に沖縄開催が本部にて了承され2020年沖縄へ動き出しました。

2019年構造デザイン発表会（東京）での意見交換会終了時には沖縄アピールの踊りも披露しました。当時、コロナ禍が起きるなど誰も想像できず2020年沖縄開催を信じていました。



100名超の発表者と多くの参加者が全国から集まる大会の準備は並大抵なものではなく、会場・予算・時間割・人員・動線・備品など様々な検討を本部WGとの共同にて支部WGおよび沖縄地区会の有志皆さんが副支部長の重松さんを中心に検討を重ねてきました。

しかしながらコロナ禍により2020年の発表会は1年延期となり、さらには2021年の開催も延期となってしまいました。また、感染対策やオンライン併用の準備など様々な新たな課題も生じました。このような状況で心が折れそうになりかねない中、自身の忙しい仕事がある中で準備活動が続けてきたメンバーの皆さんには敬意と感謝の念しかありません。

また構造デザイン発表会準備だけでなく、各委員会・部会や各地区会の活動もコロナ禍にもかかわらず工夫を凝らして実施されています。これらは並大抵な努力ではありません。

ある方が話しておられましたが、「JSCA九州の皆さんは、自身のスキルアップと仲間たちのために報酬があるわけでもなく自発的に活動しており、なんて素晴らしい人たちだろう。」この言葉を聞いて、改めてJSCA九州の一員であることに喜びと誇りを感じています。

新型株や海外感染などコロナ禍もまだまだ予断を許さないですが、会員および賛助会の皆さんが仲良く明るく楽しく活動参加できるように引き続き尽力を続ける所存でございます。

今年もどうぞよろしくお願いたします。

※JSCA 構造デザイン発表会 in 沖縄 2021の1月28日開催は感染急拡大により延期となりました。

3度目延期で断腸の思いですが、延期日程決まりましたらご案内します。皆様の参加をお待ちしています。

## 新年を迎えて



副支部長 重松 正幸

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。この正月いかがお過ごしだったでしょうか。私は約二年ぶりに地元長崎へ大晦日・元旦で帰省し、今年は我が子の受験もなく心穏やかに年越ししました。1月開催予定の「デザイン発表会 2021 in 沖縄」が無事開催されることへの願掛けとして、このJSCA用執筆を正月二日の初仕事に選びました。

元旦に地元旧三和町川原の住吉神社へ参拝しました。平安中期に創建された千年以上の歴史ある神社で、地元民の多くがキリシタンになった安土桃山時代には存続危機があった模様。キリスト禁教令がでた江戸時代初期に設置された狛犬(長崎県最古 1681年(延宝9年))が、本殿の中からこちらをじっと見ている。神社裏の巨石の下には、太平洋戦争時の防空壕が存在。本殿横に市指定天然記念物の大楠(樹齢約500年)があり、枝葉を大きく広げ御神木として人々の行き交う姿を見守ってきた。私にとっては地元の小さな普通の神社でしたが、その様な歴史もあり神社マニアに人気があるそうです。様々な時代を見てきたこの御神木は、きっとコロナ禍も人々の安心を願い見守ってくれていて、明るい未来へ導いてくれるのだろう、そんな気持ちにさせる不思議な力を感じながら小さな境内を散策してきました。今年は誰にとっても、より良い一年になるよう願いをこめて。

皆様の健康とより一層のご活躍を祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



副支部長 松下 淳一

皆様、新年あけましておめでとうございます。

年末は新型コロナ感染状況が落ち着き、不安はあるものの昨年と少し違う気持ちで新年を迎えることができました。

2021年九州支部ではコロナ禍においても担当各位の尽力により、感染対策に配慮した上で講習会・見学会等の活動が2020年より活発に行われるようになりました。参加いただきました皆様にお礼を申し上げます。

構造技術を取り巻く環境、構法や材料の新技术や解析・設計手法などは、このような状況でも少しずつ日々進歩し変化しており、私自身はおいて行かれないよう気を引き締めているところです。同時に仲間である会員の皆様へお役に立てる情報を、活動を通して提供できればと思います。

まだ先行きは不透明ですが、感染状況の改善とともに社会活動の制限が緩和されてきているように感じます。アフターコロナとなっても、これまで得た知見を活用ししばらくは気を緩めずに、本来の構造技術者の交流の場として、そして地位確立のためにJSCAが機能するような活動を今年に行いたいと思います。

皆様のご活躍ご健勝をお祈りいたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

## 技術委員会



技術委員長  
(有)福岡構造 吉村 泰広

新年あけましておめでとうございます。

2019年に九州支部技術委員長に就任して早くも4年目になろうとしています。還暦も過ぎ、孫も3人になりました。これまでいろいろなことがありましたが、やはり最も大きなことは一昨年より続くコロナです。コロナ禍により活動が出来なくなるなど負のイメージが強いのと思いますが、このような状況であるためDX化が進み、WEB利用することで新しい活動の在り方が進んだことは、大変好ましく前向きな気持ちになれると思っています。

「以前までの日常」ではなく「新しい日常」を想像します。

昨年はBIM化が大きく進み始めた年でした。JSCA九州支部技術委員会ではBIM-WGを新設しました。勉強会、講演会などを通じて九州支部会員の皆様に新しい情報を発信していきたいと思っています。

これからも、JSCA本部技術委員会・九州支部技術委員会各部会をはじめ、九州免震普及協会、福岡建築構造事務所協会とも連携し、対面+WEB講演会など、多くの活動の場を持つことができるとと思っています。また、2019年にご縁がありました韓国免震制振協会との交流もコロナが収束する日を待って再開できるとと思っています。

本年も微力ですが頑張ります。皆さまご協力の程よろしく申し上げます。

## 設計基準系部会



設計基準系部会長  
(株)織本構造設計 都筑 清

新年あけましておめでとうございます。

昨年も結局、新型コロナウイルスに振り回される一年となりましたが、そんな中でもワクチン接種の推進・東京オリンピックの開催など、社会が一步步困難を乗り越えて進んでいった一年だったと思います。

設計部会も徐々に活動を再開しており、昨年末は福岡県構造計算適合性判定機関との意見交換会に参加しています。これについては議事録公開と「判定事例による質疑事項と設計者の対応集」資料改訂の講習会を近日に案内することができるとしています。

働き方改革と併せたテレワーク活用も当たり前となり、講習会などのイベントはオンラインで開催されるのが一般的となっており、ある意味業務の効率化が図られたかもしれませんが、建設業界ごと設計業務に関していえばテレワークなどの遠隔手法はベストの方法ではない、と感じています。皆様の感想はいかがでしょう？

建築コスト高騰への対応、SDGsへの取り組みなど、新たな課題も浮上してきましたが会員の皆様と一緒に乗り越えていく所存です。

本年も宜しく申し上げます。

## 応答制御設計部会



応答制御設計部会長  
エス・エー・アイ構造設計(株) 上野 敏範

皆様、新年あけましておめでとうございます。

2017年より活動を始めました応答制御設計部会では、引続き、免震構造や制振構造を、特殊なものとするのではなく、一般化することを目標に活動を始め、5年目を向かえます。

昨年は、

- ・熊本地区会の免震勉強会に参加しました。合計8回(7月～11月)毎回全員WEBでの開催でした。内容は、免震概要・設計工程や審査手続き・地盤調査・躯体コスト・維持管理・施工標準・告示ルートによる試設計など、多くの賛助会員の皆様のご協力も得ることができ、幅広く情報を共有できました。ご参加の方で3チーム編成し、それぞれ異なるモデル建物とデバイスを選定され、2月後半の発表会に向け試設計中です。対面での発表会が楽しみです。この成果品は、他の地区会とも共有できたらいいですね、とのこと。

- ・「住まいるフェア福岡2021」(11月)に協賛し、免震装置メーカー「THK株式会社」の免震体験車の試乗会を行いました。多くのみなさまに、「耐震構造」「免震構造」の建物の揺れの違いを体験していただき、前回同様、言葉だけでは伝わりにくい建物の耐震性能を感じていただくよい機会になったと思います。

今年も、WEBを活用したイベント(地盤調査と入力地震動講習会、免震構造動的振動勉強会)を他の部会との共同で計画中です。

皆様のご理解とご協力、どうぞ宜しくお願い致します。

## 基礎地盤系部会



基礎地盤系部会長  
(株)梓設計 鮎島 健夫

新年あけましておめでとうございます。昨年からは基礎地盤系部会会長を担当させていただくことになりました。宜しくお願い致します。

最初の活動として、10年前にJSCA九州で発行した「地盤調査ハンドブック」の改定に取り組んでいます。若手の構造設計者に協力を仰ぎ、毎月1回専門家を交えての勉強会を行い、約1年をかけて改定作業に取り組んでいます。Webを活用した勉強会ですが、毎回活発な意見交換が行われ、非常に勉強になる会となっています。今年もまだまだ勉強会は続きます。リアル形式での勉強会の回数を増やすことができれば幸いです。また、今年中に「地盤調査ハンドブック(改定版)」の発行を行いたいと考えていますので、暫くお待ちください。その他にも、基礎・地盤の設計に生かせる勉強会・講習会を企画していきたいと思っております。

皆さまの日々の業務の一助となるような情報を配信していきたいと思っております。本年も宜しくお願い致します。

## 鉄筋コンクリート系部会



鉄筋コンクリート系部会長  
(株)大林組 木村 正人

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、ビックイベントである「東京オリンピック・パラリンピック」が無観客とはいえ無事開催され、スポーツ好きな私は大いに興奮させていただきました。また、緊急事態宣言期間やまん延防止等重点措置が長期にわたり、社会も「with コロナ」に変化する中、テレワーク、オンライン会議等の業務スタイルにも慣れ、効果的な活用ができるようになってきたと感じています。今年、オミクロン株による感染の再拡大が懸念されていますが、延期されていた「JSCA 構造デザイン発表会」が沖縄で開催されることを切に願っています。(本原稿投稿時点では、全国の感染者は150名程度です)

昨年は、年初に企画していました「配筋基準の読解勉強会」を開催に至らず申し訳ないしだいですが、今年こそは開催したいと考えています。また、2月には「RCS 構法勉強会」を対面とオンラインで開催致します。奮ってのご参加をお待ちしております。

今年も皆さまのご理解とご協力、どうぞ宜しくお願い致します。

## 鉄骨系部会



鉄骨系部会長  
鹿島建設(株) 井手 文雄

あけましておめでとうございます。

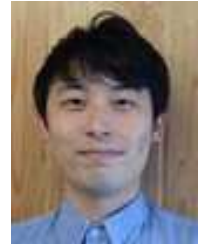
昨年は一年遅れで東京オリンピック・パラリンピックが開催され、日本選手の連日の活躍で盛り上がった大会でしたが、無観客開催となるなど新型コロナウイルスの影響を大きく受けることになりました。

当部会もコロナの影響を受け一年半ほど活動ができていませんでしたが、昨年7月に現場見学会を開催しました。現場のご理解ご協力の下、コロナ感染対策を行い参加人数を絞った中での開催でしたが、無事に実施できたことを大変うれしく思います。

今年は無事です。春が来て根や茎が生じて成長し草木が伸び始める状態、強く大きく成長する時期だそうです。web開催など新しい実施方法も採用しつつ、さらに幅広く活動していきたいと思えます。

本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

## 木質系部会



木質系部会長  
(株)川崎構造設計 宮崎 大介

皆様、あけましておめでとうございます。

昨年はコロナ禍の中多くの講習会の企画は出来ませんでしたが、11月には井上正文氏（他メーカー2社）に「木質構造における構造設計技術セミナー」という表題で講演会をして頂きました。福岡県建築住宅センター様、九州住宅保証（株）様のご協力のもと、無事開催することができました。部会としては初めてのWEBチケット利用、会場及びオンライン同時配信の講演会となりました。会場での機材不具合が生じ、一時中断するアクシデントがありましたが、参加者や講師関係者をはじめ、会場スタッフ協力のもとなんとか再開できました。今後講演会をオンラインで開催するにあたって、貴重な経験をさせて頂いたと感じております。ご参加頂いた方からは非常に有意義な内容でしたと温かい声を頂き、ほっとしております。

今後も技術情報に限らず、木材流通等幅広い情報提供の場を設けさせて頂ければと思います。本年もよろしくお願ひ致します。

## 特殊構法部会



特殊構法部会長  
(株)ピーエス三菱 石井 孝幸

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えの事と思います。

昨年は、第3波で始まり第5波で五輪期間がまるまる緊急事態宣言下での異例の開催となり、再びコロナ禍で思うように行動できない一年が終わるのかと半ばあきらめていましたが、8月中旬以降からの新規感染者数減少で10月に特殊構法部会として決断しました。当初はリモート開催を試みましたが、リモートならではの壁にぶつかりながら、11月にリアルな工場見学会として開催しました。皆さまが気軽に参加して頂けない遠方での開催に関しまして、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

さて、今年には39番目の干支で「壬寅（みずのえ・とら）」の年です。壬寅は、「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」を表しているそうです。

特殊構法部会は、新しく立ち上がることに再チャレンジする「リアルとリモートの良さを生かした活動を行う」「他の部会に属さない特殊な構法、構造をテーマに広げる」を頑張ります。皆さまの要望や意見などをお聞かせ下さい。

本年も引き続き特殊構法部会運営に関しましてご支援をよろしくお願い致します。

## 耐震改修部会



耐震改修部会長  
 (株)香月設計 香月 博己

あけましておめでとうございます。

コロナ禍となり早2年が経とうとしています。昨今は、対面での活動がし辛いため、WEBを媒体とした活動をするのが目立つよう見受けられます。

そんな中、10月には、木質系部会と共同主催で「伝統工法による五重塔の構造設計」WEB講習会を行いました。講師の貝谷氏により、熟考された解析モデル、様々な工夫が施された工法等の説明をしていただき、講習終盤では質疑応答の時間で活発にディスカッションしていただきました。つい後退りがちなこのご時世のなか、全国からJSCA会員内外問わずWEB講習に積極的に参加していただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

耐震改修部会におきましては、木造戸建住宅に関する耐震改修、既存特定天井の耐震改修、既存ブロック塀等の耐震診断、耐震改修について講習会や勉強会を開催するつもりでおりますので皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

## シニアアドバイザー



シニアアドバイザー部会長  
 吉原建築構造計画 吉原 浩晃

皆様、新年明けましておめでとうございます。  
 本年もどうぞよろしくお願いたします。



## 構造デザイン部会



構造デザイン部会長  
(株)久米設計

伊藤 淳

新年あけましておめでとうございます。

昨年、構造デザイン部会が発足し、初代部会長に任命頂きました。

発足前から5月の総会后に行われる九州構造デザイン発表会をオンラインで実施するため、の活動がスタートしました。旧発表会WGメンバーだった安達さんにもご協力いただき、ZOOM ウェビナーのイロハから学びました。発表会当日は広い会場に8名だけという不思議な状況でしたが、PCの向こう側からたくさんの質疑を頂き、寂しいと感じること無く、あっという間の二時間でした。

12月には、(仮称)旧大名小学校跡地活用事業の構造見学会を実施しました。場内感染対策による注意事項が多々ありましたが、ご参加いただいた皆様のご協力により安全に開催することが出来ました。質疑応答も活発に行われました。

今後は毎年の発表会の運営をしながら、コンピューショナルデザインに関連した活動等を行いたいと考えています。引き続きご協力の程よろしくお願いいたします。

## 青年部会



青年部会長  
(有)福岡構造

安達 亮平

皆様、新年明けましておめでとうございます。

2021年も『非日常』と言われる状況に終止符が打たれることはありませんでしたが、状況が落ち着いた時期もあり、対人での交流が少しずつ復活してきた一年でもありました。『非日常』によって発見・進化したもの、これまでの日常のような制約ない自由な交流、これらが合わさった『バージョンアップ日常』が今年くらいに確立できることを期待せずにはられません。

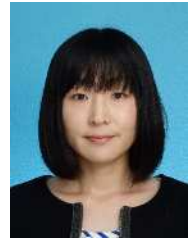
昨年の青年部会の活動として、7月にオンラインによる木造関連の座談会を開催しました。この座談会では木質系部会の宮崎部会長を講師として位置付け、各参加者が木造に関して疑問に思っていることなどを自由に発言してもらった形式としました。オンラインならではの進行の難しさはあったものの、意見交換としては非常に良い機会になったと感じており、今後もテーマを変えて続けていきたいと思えます。11月に開催した高炉セメント勉強会は対面とオンラインの併用にて開催しましたが、数名ながら久々に対面での交流もでき、やはり良いものだなと改めて感じ、今後も対面での企画もできればと思えます。

昨年あまり活発と言える活動内容ではありませんでしたが、2022年は鋼構造サブネットワークの活動と併せ鉄骨関連の様々な業種の方との交流や、各種見学会などの活動を計画したいと思います。(状況が良ければ懇親会も。)

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



## なでしこ会



なでしこ部会長  
(有)中野構造設計 松田 千恵

あけましておめでとうございます。

昨年のなでしこ会は、オンライン中心ではありますが、月1回のミーティングを再開し、6月には見学会、12月にはオンラインによるサミットと、積極的に活動を続けてきました。オンラインのおかげで福岡県外のメンバーの参加があったことに加え、BIM-WGからの新規メンバーの参加があり、例年以上に活発な情報交換が出来ました。今年是对面のミーティングとの併用が出来ればと思っています。

今年、なでしこ会ならではの「共感力」を活かし、より活発な情報交換、スキルアップを図っていきたいと思っています。

本年も皆様のご協力とご支援に感謝しながら活動を続けてまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

## 広報委員会



広報委員長  
オリエンタル白石(株) 福田 顕議

JSCA九州支部会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。広報という名の通り、2022年もJSCA九州支部の魅力会員その他一般の方々に、広くわかりやすくお知らせしていく所存です。毎年恒例ですが、広報委員会最初の仕事は、このメール版新春号の編集と配信です。役員の皆様、地区会幹事の皆様、お忙しいところ新年早々の執筆ありがとうございました。充実した広報のため、皆様に執筆等ご協力頂くこともあるかと思いますが、その際は何卒宜しくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの影響で、何度も延期になったJSCA構造デザイン発表会 in 沖縄をはじめ、対面での講習会や見学会が見送られてきました。しかしながら、ワクチン接種の確認や感染対策をしっかりとし、昨年後半より徐々に活動も再開されてきていると感じました。各種講習会や見学会の情報がございましたら、事務局や広報委員会にご一報いただければ、JSCA九州支部のホームページ <http://jscakyushu.jp/>等でアナウンスさせていただきます。一人でも多くの参加いただけるよう、広報委員会も微力ながらお手伝いさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

**事務局**

事務局長  
(株)JE 構造設計 恵藤 宏光

皆様、新年あけましておめでとうございます。

今年度はWEB会議が当たり前のこととして、何の違和感も無く実施されてきました。この状況に慣れてしまっている自分に改めて驚いているところです。スケジュール調整という手間は対面の場合と変わりませんが、手軽に計画・実施出来るのがWEB会議の良さであるし、対面の時よりも回数が増えている様感じます。各部会や地区会で開催頂いている講習会や勉強会も、対面+WEB形式が主流となり、会費をパスマーケットで徴収するなど、システムが確立し定着しつつある様です。一方で、まだ使用するWEB会議システムによっては、CPDや構造士評価点申請などの処理の不便さが解決していない点もありますので、今後改善していきたいと考えています。

昨年は1年延期となっていた福岡建築倶楽部ゴルフコンペを10月に開催し、例年並みの70人近くの皆様に参加して頂きました。通常であればコンペの最後に表彰式パーティーを行うのですが、密を避けるために流れ解散とせざるを得ませんでした。ただ賞品は必ずお渡ししたいと考えておりましたので、ゴルフ場の担当者と知恵を出し合い、最終的には前半(午前中)のスコアで順位を決定し、これに応じた賞品を午後のプレーを終えた帰り際にお渡ししました(賞に漏れた方も、参加賞として高級食パンを全員にお渡ししました)。こんな状況においても、少しでも参加した方々に楽しんでもらえるやり方が色々あるものだと感じた次第です。

今年も建築構造技術者協会のJSCA九州支部として、会員の皆様、賛助会の皆様のご協力をお願いしつつ、事務局としましても会員の皆様への円滑な情報伝達を行うべく活動していきたいと思えます。会員外の皆様も活動をご覧になられた方々には、新規会員として入会頂ければ幸いです。今後とも、会員・支部幹事・地区幹事の皆様・賛助会員の皆様よりよろしくお願いいたします。

## 地区会報告



北九州地区会幹事

(株)松尾設計 牛尾 忠信

新年、明けましておめでとうございます。

北九州地区会幹事の牛尾です。コロナの中、一昨年からの2年間思うようにイベントが開催出来ず地区会の皆様には申し訳なく思っています。例年開催している北九州市及び市内建築系大学との建築構造系講演会が実施出来ていません。令和4年は形を変えて是非とも開催したいと思います。

昨年は唯一、登録文化財に指定予定の数寄屋造りの家屋調査に参加できました。外構部分を3DF Zephyr Liteを利用して写真からpdfを介して長らく使っていないJW-CADでトレースして図面にしました。もう少し賢い方法はあるかと思いましたが手元にある道具を使用しました。費用を掛ければレーザー測量と思いますが。

私ごとですが、昨年65歳になりました。これまで外部へ報告・発表できる設計物件が無いので少し寂しさもありますが、入社以来、今も日本製鉄関連のプラント建築物を設計しています。

やはり面白いのは改造です。100年を超えるリベット組立構造からロールH材の無い時代のBH材を用いた溶接構造、その後は形鋼を用いた溶接構造+BH材になりました。クレーンが大きいので、柱も組立、小屋もトラス構造、古い構造は山形トラス、今は平行弦トラスです。解析は主に任意系平面骨組です。立体骨組で解析することはほとんどありません。

最近は一貫計算ソフトが充実し、活用の機会が増えましたが、任意系平面骨組解析で行うのが分かりやすいと思っています。話は尽きません、この位にします。

本年もどうぞよろしく願いいたします。



佐賀地区会幹事

(有)金子建築設計事務所 金子智洋

新年あけましておめでとうございます。佐賀地区幹事4年目となりました。

昨年も新型コロナウイルスの影響を受けた一年となりました。第5波の影響も落ち着いておりますが、オミクロン株の拡大により全国的に感染者数が増加しており、市中感染も確認されております。引き続き、基本的な感染予防対策を徹底しなければと思っている次第です。

1月28日に沖縄で開催される「JSCA 構造デザイン発表会 in 沖縄」についても、今林支部長、重松副支部長をはじめ、多数の沖縄地区会の皆様、支部WGや本部WGの皆様の尽力により後は開催を待つみの状況となりました。感謝申し上げます。感染拡大が収まり、沖縄でのデザイン発表会が何とか開催できるよう切に願います。

佐賀地区会においても総会を対面とリモートのハイブリット式で開催しましたが、予定している県外での工場視察がまだできていない状況です。ただ1月には県内で建設されているSAGAサンライズパークの見学会を予定しております。地区会員の皆様には思うような活動が出来ず心苦しく思っておりますが、ウィズコロナ時代の中で出来ることを行い、技術の向上を図り本年も楽しく活動して参りたいと思います。本年もどうぞ宜しく願い致します。



長崎地区会幹事

(有)百田建築設計事務所 平川 雅敏

新年あけましておめでとうございます。

昨年は11月に、長崎大学修行名誉教授「鉄骨骨組崩壊解析の最近の動向」、12月に長崎大学中原教授「九州大学六本松校舎の実大破壊実験から分かったこと」と題しまして、2名の先生方の講演会をWEB開催致しました。今年2月には長崎総合科学大学藤田准教授「浮体式海洋建築の波による挙動および鋼構造増厚補強型柱梁接合部の構造性能について」と題しまして同じくWEBにて講演会を予定しております。地区会でお世話になっております先生方が日頃研究されています内容を講演頂き、地区会では講演会の前に勉強会を開催し、少しでも多くのことが理解できたと思います。また、昨年は中止となりました長崎県鉄構工業会との合同懇談会も開催予定です。会員や先生方の協力で活動が出来た一年になったと考えています。ありがとうございます。今年も、出来ることを、地区会会員で話し合い一丸となって、活動していきたいと思っています。よろしく願いいたします。

最後に九州支部会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。



熊本地区会幹事

(有)かいしん設計室 甲斐 信親

新年あけましておめでとうございます。

昨年初め、地区会員から免震建物設計勉強会の開催要望が上がりました。そこで応答制御設計部会の上野部会長に相談したところ、全8回のリモートで「免震建物の試設計をする」ための勉強会を提案されました。当初は、一年を通しての勉強会となり最後まで出来るかと不安もありましたがとにかくやることにして、上野部会長に全8回の勉強会の計画を作ってもらいました。前半の4回が免震関係メーカーの方の講習で後半の4回が免震部材ごとの3チームに分かれての試設計をという工程でした。現在予定していた8回の勉強会が11月に終わりましたが、試設計の方はまだ完成出来ていませんが、2月24日に完成した試設計の計算及び図面を持ち寄って発表の予定で各チームのみんなでがんばっています。完成を楽しみにしているところです。

今年もコロナ感染症はまだまだ納まる気配がありません、また今年も何か構造関係の勉強会か講習会の企画が出来ればと思います。もっともっと若い構造設計者が増えることを願っています。

がんばる熊本！がんばる九州！



大分地区会幹事  
(有)ケイシン設計 山本 伸二

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は「**今年は明るく希望のもてる年を過ごしたいです。**」からご挨拶を申し上げます。しかし、相変わらずコロナ感染の心配が続いています。統計上の感染者は世界的に人口比 3.5%程度、死者も 0.07%程度と少ない表示 (CoronaBoard(2021/12/21)より) となっています。しかし、彼らはこの 2 年間で知らず間になんと 32 回の変異を繰り返し、活動を増しています。昨年末では o (オミクロン) と呼ばれ感染者が多くなりつつも日本上陸の阻止を続けておりましたが新年から数倍の感染力で感染者が多くなってきました。残念なことに 1 月 7 日のまん延防止等重点措置が発せられました。このウイルスの重症化は抑制されて心配が薄く報じられていますが後遺症の発現は未知数です。今年も気を配り過ぎさねばならないようです。やはり、「来年に希望を持つ」ことを考えましょう。

さて、今年「2022 年」の JSCA 九州の活動は新年の 1 月 27 日から「支部役員会議」、翌日 28 日の「構造デザイン発表会」と沖縄の地に参集し活動を開始する予定でしたが前記の配慮で三度の延期となりました。大分地区会からも 7 名が参加する予定で楽しみにしていたところですが誠に残念極まりありません。

本年も皆様と共に活発な活動ができるよう望みます。最後に皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。



鹿児島地区会幹事  
(有) リソー・エンジニアーズ 白坂 哲也

新年おめでとうございます。

この 1 月いよいよ JSCA 構造デザイン発表会 in 沖縄が開催されます。沖縄での開催が決まってから「行きたい」と言う気持ちが募り募っていました。学生時代に初めて旅行らしい旅行、それも「建築を見る」と言う目的で沖縄本島を旅しました。当時、建築雑誌で沖縄の建築が取り上げられたり、沖縄の特集を組んでいたりと、ちょっとした沖縄ブームでした。行って見て、建築もさることながら、その地域性(文化、歴史)に触れることが出来、思った以上に心残る旅となりました。再び訪れる機会を得て、また何か学ぶこと、得るものは何かと、とても楽しみにしております。これまで一堂に会する機会がありませんでしたが、きっと良い刺激になると思います。皆様にお目にかかれるのを楽しみにしております。



宮崎地区会幹事

WADA建築研究所 和田 哲夫

新年あけましておめでとうございます。

去年はコロナ禍の1年で今年もまだ不安を残す年となりそうです。その影響でウェブ会議、ウェブ講習が多くなり、ようやく慣れましたが、年のせい何かしっくりこない状況です。去年は宮崎地区会の活動（講習会、見学会、セミナー等）も出来ず1年が過ぎました。今年は、南海地震が10数年後に起きる可能性があるとの報道がありますので、日向灘沖のスロー地震観測の様子等を交え講習会を計画し、木造建築の耐震性について、勉強会耐震相談会が行われれば良いと思っています。去年は大分地区会からウェブ勉強会のお誘いがあり宮崎地区会と合同で行いました。おかげで、ウェブ会議のやり方も勉強になり、大変良い経験となりました。大分地区会の皆様ありがとうございました。宮崎地区会の会員状況ですが、構造設計者も高齢化リタイヤ等がありますので若手の会員を増やし、たくさん会話を重ね元気よく技術の向上以外にも魅力ある地区会を目指したいと思っております。



沖縄地区会幹事

株式会社 ケイ・ツー設計 小波津 和也

明けましておめでとうございます。2022年が皆様にとって真に良い年となることを心より祈念しています。さて本来ならば、昨年9月22日(水曜日) 予定していた「JSCA 構造デザイン発表会 in 沖縄」についての報告予定でしたが、残念なことに新型コロナウイルス感染症による影響及び感染拡大防止対策により今月28日への再度延期となりました。本発表会へ心待ち参加予定されていた方へは「もう少しお待ちくださいませ。今月28日にはデザイン発表会開催とします。」の気持ちで最終調整中です。場所は沖縄コンベンションセンター会議棟にて開催としています。JSCA九州支部の皆様へ、前日からの沖縄入りでの発表会開催運営へ沖縄地区会メンバーとの運営について共に頑張りましょう。このデザイン発表会の準備にて沖縄地区会メンバーとの協議・連絡・調整・懇親会など多くの時間を費やすことが出来、今まで以上に沖縄地区会の絆が深まったと感じた次第であります。沖縄地区会メンバーに対してはデザイン発表会の活動を通して頼もしいかぎり「沖縄地区会の皆様よく頑張った。ありがとうございます。」の気持ちでいっぱいです。あと少しで発表会本番となりますが、最後まで気を引き締めて開催にむけての調整を行い「デザイン発表会の開催が沖縄でよかったね。」と思われるくらい発表会が成功することを望みます。沖縄での開催をはじめとし、今後は数年に1回は地方でのデザイン発表会の開催が行われることに期待したいところです。